

2018

第31回

福岡県

美しいまちづくり

建築賞 / 作品集

the 31st
public competition
fukuoka
prefecture /
architectural
award for
artistic
urban design
works



目次

| | |
|---------------|-------|
| ご挨拶 | 01 |
| 総評 | 01 |
| 大賞 | 02-05 |
| 優秀賞 | 06-07 |
| 最終選考対象作品 | 08 |
| 理事長賞 | 09 |
| 理事長賞 最終選考対象作品 | 10 |
| これまでの大賞受賞作品 | 11-13 |

ご挨拶

福岡県知事 小川洋

本県では、県民の一人ひとりが「福岡県に生まれて良かった、生活して良かった」と実感できる「県民幸福度日本一」を目指し、さまざまな施策を展開しています。

その施策の柱の一つとして、「環境と調和し、快適に暮らせること」を掲げ、良好な景観の絵画および写真、景観形成に資する建築物の表彰、街並み整備の推進などにより、美しいまちづくりへの県民意識の醸成、良好な居住環境づくりを促進しています。

これらの取り組みの一つである「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、国連が定めた国際居住年である昭和62年に「福岡県建築住宅文化賞」として創設し、平成12年の「福岡県美しいまちづくり条例」制定に伴う改編を経て、今回で31回目を迎えます。本賞では、「個性豊かで、美しく、誇りを持って次の世代に継承することができる景観の形成に資すると認められる建築物」を対象に表彰を行っており、今回もご応募をいただいた多数の作品の中から、選考委員会による厳正な審査を経て、特に優れた5作品を表彰することといたしました。

大賞に選ばれた住宅の部「小屋の間」、一般建築の部「すばる保育園」をはじめ、いずれの作品も建築物としての素晴らしさだけでなく、生活する人々の心を豊かにし、愛され親しまれる景観の形成に資する作品となっています。

これらの受賞作品を通じて、県民の皆さまの良好な景観形成、質の高い生活環境の構築に対する意識が高まることを期待しています。

最後に、選考委員会の各委員をはじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまの今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

総評

選考委員長 田上健一

優れた建築を表彰することにより、美しいまちづくりの促進を図ることを目的として制定された本賞は、今年で31回目を迎えました。

本賞では、「住宅の部」と「一般建築の部」の各部門で「大賞」および「優秀賞」が授与され、また既存建築物のリフォーム・リノベーション作品を対象として「(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞」が授与されます。本年度は「住宅の部」46件、「一般建築の部」41件、計87件の一般公募による応募が寄せられました。審査は10名の選考委員による慎重な審議を経ています。

第1次選考委員会は9月19日に開催され、応募書類をもとに「住宅の部」の候補4作品、「一般建築の部」の候補4作品、「理事長賞」候補2作品を選出しました。また、第2次選考の現地審査は11月18日と12月2日に実施され、建築の内部・外部空間および周辺環境の視察を行うとともに、建築主・設計者・施工者等の関係者の説明を受けました。第2次選考の現地審査終了後に最終選考委員会を開催し、各受賞作品を選出しています。

「住宅の部」では、戸建住宅3作品、複合型集合住宅1作品の4作品が第1次選考を通過しました。いずれも地域社会や周辺環境との関係性を主題としており、本賞に相応しいものでした。「大賞」を受賞した「小屋の間」は、建築としての完成度が高いことに加えて、設計・施工の信頼関係、建築主の住まい方、既存集落における新しく開かれた関係づくりについて多くの選考委員の共感を得ました。優秀賞の「鞘ヶ谷の家」は、緻密な建築ディテールと抑制した住宅のボリュームとプロポーションが与える上質な空間が評価されました。

「一般建築の部」では、美術館、スタジアム、保育所、宿泊施設の4作品が第1次選考を通過しました。それぞれの作品が社会への高いメッセージ性を有しており、本賞に相応しいものです。大賞の「すばる保育園」は、田園に浮かぶ壁面とボリュームが描く曲線が、遠中近の地域景観を包含し連続する空間が創出されています。優秀賞の「北九州スタジアム(ミクニワールドスタジアム北九州)」は、スタジアムの一部を港に開くという、この敷地でしかできないランドスケープを創り出したことが評価されました。

「理事長賞」には、駅前ビルのリノベーション作品と、駅舎のコンバージョン作品が最終選考に残り、新幹線のターミナル駅という複雑な関係性を有機的にデザインした「博多南駅前ビル(ナカイチ)」が受賞しました。

なお、本賞は福岡県が主催し、単に目立つとか話題になったものを表彰するということではなく、社会的かつ文化的に優れた建築を表彰することにより、建築文化を高めることが趣旨となっています。また、「美しいまちづくり建築賞」という名称が示すとおり、建築単体ではなく地域の価値向上に貢献することも重視されます。今後も、この制度が質の高い建築ストックの醸成に繋がっていくことを期待致します。

大賞

小屋の間

設計趣旨 建築を敷地の対角上に配置し、分節されたふたつの領域(集落側に開放された外庭と山側のプライベートな内庭)を建築に内包された土間によって緩やかにつなげ、領域間に生じる「間」によって視覚的な解決策を講じると同時に、開放的な住環境を獲得しようと試みた。

建築の骨格は、1間半のモジュールが連続する単純な架構で構成されている。その中の3つのグリッド(3間×3間)を室内とし、その間に外部化された土間空間と内部化された土間空間を挿入し、平面ではスタジオと居住空間が独立した状態を保つ一方で、断面では連続する小屋組みによって互いの領域が分断することなく、ひとつながりの空間として場が拡張していく状態を創り出している。

講評 「家」が「家」であるための原型を想起させる秀逸な作品です。

かつてボルノウ(Otto Friedrich Bollnow)は、「住居は、それが人間に生の確かな安定性の感情を媒介すべきものだとすれば、長い過去をも反映しなくてはならない。このことのためには、住居のなかで『歴史』をもっているものすべてが欠かせないのである」と記しました。ボルノウが言うように、この作品からは、見た目や内装、最新の設備ではなく、「懐かしさ」、「心地よさ」、「無駄さ」など、人と空間とのやりとりの自由さとリアリティが存分に感じられます。「家」の中に地域の人も入ってくるような、日本の伝統的な「家」の姿もみることができます。

在来構法による無駄のない架構形式と、素型に潜んだディテールへの細やかな配慮が、骨太な空間を創りあげています。

建築としての完成度が高いことに加えて、設計者と施工者の相互理解と信頼関係、建築主の住まい方、既存集落における新しく開かれた関係づくりなどについて、多くの選考委員の共感をえました。



| | |
|------|--|
| 所在地 | 糸島市 |
| 建築主 | 個人 |
| 設計者 | 松山建築設計室 松山将勝 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目25番14号 ヒロビル8F TEL 092-433-1128 http://www.matsuyama-a.co.jp/ |
| 施工者 | 株式会社イコー福岡 代表取締役 塚崎義治 |
| 用途 | スタジオ併用住宅 |
| 構造規模 | 木造 地上1階建て |

大賞

すばる保育園

設計趣旨 小都市の郊外に建つ保育園である。敷地の西隣には神社の鎮守の森が隣接し、東側と南側に水田が広がる。設計に際してはこうした豊かな周辺環境と積極的に関係づけたいと考えた。

保育園として3歳未満児と3歳以上児の空間をはっきり分けるため、2つの庭を確保した。ひとつは西側の鎮守の森へ、もうひとつは南側の水田に向けそれぞれの園庭を確保し、それぞれの保育室で囲んだ。室内外の子も達の動きを見渡せる結節点に管理諸室を、角にステージの付いたホールを配置した。

ホールの屋根はコンクリートのスラブを隆起させることで15mのスパンを柱梁なしで架構する自由曲面シェルであり、その形状は水田越しに連なる花立山の形状と呼応する。

講評 郊外の田園風景の一部が鮮やかに再構築され、時空を超えた場の価値を生み出しています。

2つのゆるやかな曲線による庭、連続するルーフ、隆起するシェル構造のドームなどが、外へ外へと関係を求めています。敷地境界を超えて、完結することなく、このような建築が周辺環境へ接続し拡がれば新たなまちの「すがた」が紡がれるのでは、と想起させられます。

解像度の高い景観上の特徴に加えて、こどもの一回性による動きやコミュニティに対するスケールやモノのあり方も精緻に設えられています。構造・材料の清々しいまでの割り切りからも、建築の建ち方、生命感を感じることができます。

田園に浮かぶ壁面とボリュームが描く動的な風景、正面性のない建築がもたらす連続性、こどもたちの記憶の底に残るであろう空間体験の創出などが高く評価された作品です。



| | |
|------|---|
| 所在地 | 小都市 |
| 建築主 | 社会福祉法人健晴会 理事長 甲斐田良馬 |
| 設計者 | 株式会社アール・エフ・エー 主宰 藤村龍至 〒110-0002 東京都台東区上野桜木1-7-5-103 TEL 03-5832-9760 http://ryujifujimura.jp/ |
| 設計者 | 株式会社建築企画コム・フォレスト 代表取締役 林田俊二 〒810-0801 福岡市博多区中洲5-6-4 第6ガーデンビル6F TEL.092-263-7766 http://comforest.co.jp/ |
| 施工者 | 太陽建設工業株式会社 代表取締役社長 坂田哲也 |
| 用途 | 保育所 |
| 構造規模 | 壁式RC造 地上1階建て |



優秀賞

鞘ヶ谷の家

| | |
|------|---|
| 所在地 | 北九州市戸畑区 |
| 建築主 | 個人 |
| 設計者 | 柳瀬真澄建築設計工房 代表 柳瀬真澄 〒810-0024 福岡市中央区桜坂1丁目8-3 ホッポバウム桜坂002号 TEL 092-761-8003 http://www.yanase-arc.com |
| 施工者 | 山下建設株式会社 代表取締役 山下辰信 |
| 用途 | 一戸建ての住宅 |
| 構造規模 | 木造 地上1階建て |

設計趣旨 多忙な夫婦2人が互いの時間を大切にしながら快適に過ごすための小住宅である。敷地は緑豊かで閑静な住宅地、高低差6.3mの北東隣地越しには遥かに景色が広がる。計画に際しては、開放的な居間・食堂、それに接する趣味室、離れた印象の茶室と、その性格に応じた外部との繋がりに配慮することにより、生活の様々なシーンにおける心地良い居場所を設けている。居間・食堂は、北面することによって順光で景色を眺めることが出来るとともに、柔らかな木質、漆喰と相まって穏やかで落ち着いた空間となっている。趣味室は、緑を介して通りと内部が程良い関係を保っている。外観は、低い軒先のラインと板塀、植栽の緑が美しくバランスするよう注力した。



講評 建築をつくるための「厳しさ」に満ち満ちています。

敷地高低差の読み取り、控えめなボリューム、そして連なる風景など、周辺の外部空間との連続性と親和性への「厳しい」読み取りと配慮。北向きリビングルームながらそれを感じさせない開口部の設定、距離感、流動的で破綻のない平面構成という、空間的な眼差しの「厳しさ」。軒先の高さを揃えた屋根、高さをむかえつつも抑圧されずむしろ開放感を感じる室内、そこから切り取られる景色など、スケールに対する「厳しい」操作。選び抜かれた木材や塗材、控えめながら美しい木製建具や家具など、「厳しい」材料選定や意匠的試み。

多言語的な物質性はここにはなく、施工精度の高さがこれらの「厳しさ」を支えています。そして設計者と施工者のこれらの「厳しい」建築に対する取り組みの姿勢が、住み手の優しく快適な暮らしをおおらかに包み込んでいます。

緻密な建築ディテールと、抑制した住宅のボリュームとプロポーションが与える上質な空間が高く評価されました。



撮影：石井紀久

優秀賞

北九州スタジアム
ミニワールドスタジアム北九州

| | |
|------|--|
| 所在地 | 北九州市小倉北区 |
| 建築主 | 北九州市長 北橋健治 |
| 設計者 | 株式会社梓設計 九州支社 常務取締役執行役員支社長 前田隆 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5丁目23番8号 TEL 092-713-0313 https://www.azusasekai.co.jp/ |
| 施工者 | 株式会社奥村組 九州支店 執行役員支店長 大角透 |
| 施工者 | 株式会社九電工 北九州支店 専務執行役員支店長 山本泰弘 |
| 用途 | 観覧場[スタジアム] |
| 構造規模 | RC造一部鉄骨造 地上6階建て |

設計趣旨 賑わいあふれる北九州市を創出することを目的としたスタジアムである。敷地は、JR小倉駅から徒歩約7分という利便性の良さに加え、敷地東側が全面海に面しているという、狭隘ながら魅力ある場所が選ばれた。この立地条件を活かすため、施設の顔となる「スタジアムプラザ」、そこから海に抜ける「にぎわいプロムナード」を設け、日常の地域活性化のきっかけとなる場を随所に設けている。各ゲートからスタジアム内のコンコースに入ると、一気に視界が開け、スタジアム全体とその背景に広がる関門海峡や山並みを望むことができ、スポーツと海と山の景観を同時に楽しめるという、他に類のない個性的な感動を得られるスタジアムを実現した。

講評 「港に開く」。この一点のハイライトが高く評価されました。

ギリシャのオリンピックにはじまる陸上競技場、野球場、サッカー場などのスタジアムは、従来、フィールド周りの観客席という均質な高い「壁」に取り囲まれていました。野球場ではヤンキースタジアムやマツダスタジアムのような非対称かつ多様な形式の観客席や、サッカー場ではフィールドが海に浮かぶザ・フロートマリーナベイ、外部の色を変化させるアリアンツ・アリーナなど、周辺環境との境界として立つ「壁」を操作する競技場が存在しますが、隣接する港に観客席の一部を開いたスタジアムは世界的にも稀少なものです。

北九州という工業都市の機能性や合理性を現した、軽やかでシンプルな構造による控えめな観客席ルーフは、脇役としてこの新しいフィールドと観客席を引き立てています。

フィールド、海、山なみと連続するランドスケープにより、躍動感あふれる非日常の場を体験できる、記憶に残るオープンスタジアムとなっています。



撮影：川澄・小林研二写真事務所

最終選考対象作品

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては
福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

住宅の部

ロイズハカタ
所在地 福岡市博多区
建築主 株式会社リンク 代表取締役 迫田友也
設計者 株式会社青木茂建築工房 代表取締役 青木茂
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-2-6-206
施工者 株式会社九州建設 取締役社長 得丸正英
撮影 株式会社青木茂建築工房 秋山徹



住宅の部

宗像日の里の家
所在地 宗像市
建築主 個人
設計者 アトリエサンカスケール株式会社
代表取締役 村上明生
〒818-0072 筑紫野市二日市中央6-3-6
サンスケテラス1階
施工者 脇山工務店 代表 脇山政信
撮影 イクマサトシ(TechStaff)



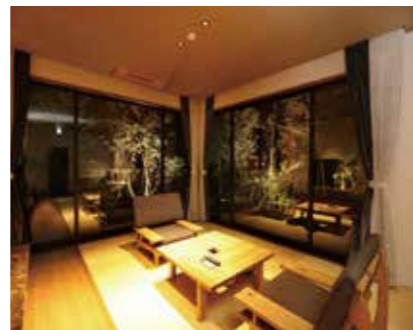
一般住宅の部

秋月美術館
所在地 朝倉市
建築主 公益財団法人秋月美術館 理事長 荒岡利文
設計者 株式会社加藤建築事務所 代表取締役 加藤史衛
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町10-50-203
施工者 株式会社小嶋建設 代表取締役 小嶋秀来



一般建築の部

奥八女別邸 やへのもり
所在地 八女市
建築主 八女市長 三田村統之
設計者 有限会社井上建築事務所 代表取締役 井上文雄
〒834-0023 福岡県八女市馬場456-5
施工者 株式会社石崎組 代表取締役 石崎伸一
株式会社黒木建設 代表取締役 服部伸文
やひめ建設株式会社 代表取締役 大石秀夫



一般財団法人 福岡県建築住宅センター

理事長賞

博多南駅前ビル ナカイチ

所在地 那珂川市
建築主 那珂川市長 武末茂喜
設計者 株式会社スピングラス・アーキテクト
代表取締役 松岡恭子
〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目11-19 第一赤坂ビル2階
TEL 092-732-3121 <https://www.spinglass.co.jp/>
施工者 大祥建設株式会社 代表取締役 平城 重則
施工者 扇技研株式会社 代表取締役 山口良太
用途 その他[庁舎]
構造規模 鉄骨造 地上4階建て

設計趣旨

那珂川市の玄関口、博多南駅に隣接しながらも、利用者が少なかった市所有の建物を改修したプロジェクトである。コンセプトを「交換と祝祭の場、ナカイチ」とし、市場のように賑わいある場につくり替えることを目指した。各フロアごとに異なる「市」のテーマを与え、できるだけ既存を再利用しつつも市民に「変わった」と受け止めてもらえるよう、場に適切な色彩やサインなどにも気を配った。特に駅や人工地盤と繋がる2階には、市民が多様な活動を展開できる立ち寄りやすい場づくりの工夫を重ねた。外壁の塗替えには遠景から建物が立体的に見えるよう配慮し、駅へのブリッジの塗り直しにもゲート性を持たせるなど、周辺全体の景観の向上も行った。

講評

建築全体が「通り」のような空間となりました。従前の駅前ビルは、交通結節点という絶好の立地性とオープンな屋上庭園をうまく生かすことができず、閑散としていました。それはあたかも、新幹線の速さやコンコースの単調さが延伸しているかのようでした。

リノベーション後の駅前ビルでは、諸室の垣根を取り払いながら空間的連携や流動性を高め、小さな家具の配置による溜まりにより、その速度を落として滞在性を高めることで、市民活動の多様な要求に即応する場が生まれています。鮮やかで視認性の高いサイン、外から差し込む光の操作など、スローな「通り」に相応しいアトラクターのリレーも場を演出しています。

那珂川の未来を描き、地域社会の発信に繋がる活動もこの場から創出されはじめており、街と駅を繋ぐ駅前ビルとして蘇りました。

厳しいコスト条件の中で生まれた新たなスローなこの「通り」には、その日その日で即興的な「市」が催され、発見と出会いが混じり合い、漢方薬のようにじわじわとゆるやかに、街の薬として効いてくることでしょう。



一般財団法人
福岡県建築住宅センター理事長賞
最終選考対象作品

採銅所駅舎
所在地 香春町
建築主 香春町長 筒井澄雄
設計者 宮城雅子建築設計事務所 宮城雅子
〒815-0041
福岡市南区野間1-7-15 サウスクローネ1001
施工者 トリカイ工務店 鳥飼貴典
撮影 濱田雄飛



一般財団法人福岡県建築住宅センター

建築住宅センターの住まいづくりサポート

- 住宅相談
専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談
- 住まいづくり教室
一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催
- 住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度
耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣
- 生涯あんしん住宅
在宅ケア・省エネ・耐震等対応モデル住宅の展示
- インスペクション(「住まいの健康診断」)
住まいの専門家による既存住宅状況調査の実施

www.fkjc.or.jp/

●お問い合わせ先 / 092 781 5169

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています。

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として昭和53年に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応じてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造計算適合性判定業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[建築住宅文化賞]大賞受賞作品

第1回福岡県建築住宅文化賞
昭和63年度
北九州市立美術館

第2回福岡県建築住宅文化賞
平成元年度
石橋別邸第一水明荘
福崎医院
花園幼稚園
ピレッジ香月

第3回福岡県建築住宅文化賞
平成2年度
松口邸
的野歯科医院
立花山の家
グリーンピア八女

第4回福岡県建築住宅文化賞
平成3年度
進藤邸
不知火病院「海の病棟」
山田市立山田小学校
福岡ウォーターフロント
プロムナード「マリゾン」

第5回福岡県建築住宅文化賞
平成4年度
刈田町立図書館
明治学園高等学校体育館
カルタックスおおむた

第6回福岡県建築住宅文化賞
平成5年度
田川文化エリア
福岡県青少年科学館
佐田邸(4世代の家)

第7回福岡県建築住宅文化賞
平成6年度
茶の文化館
二丈町の家
山笠の家(橋本邸)
西大谷第2団地(市営住宅)

第8回福岡県建築住宅文化賞
平成7年度
縄田邸
上陽町立尾久保小学校

第9回福岡県建築住宅文化賞
平成8年度
磯井琴平文化館
新宮湊坂



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



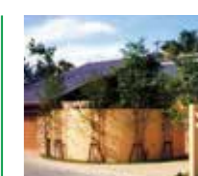
21



22



23



24



25



26



27



28

















これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞]大賞受賞作品

10回 - 22回

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| <p>第10回福岡県建築住宅文化賞 平成9年度 鞍手の家 太宰府長浦台の家</p> |  |  |  |  |
| <p>第11回福岡県建築住宅文化賞 平成10年度 瀬高町立図書館・歴史資料館 山村留学ふれあい館(筑穂学舎)</p> | 10 | | 11 | |
| <p>第12回福岡県建築住宅文化賞 平成11年度 山田市立下山田小学校</p> |  |  |  |  |
| <p>第13回福岡県美しいまちづくり賞 平成12年度 めくばーる三輪 青葉台ほんえるふ</p> | 12 | 13 | | 14 撮影：岡本公二 |
| <p>第14回福岡県美しいまちづくり賞 平成13年度 大野城の住宅 ひふ科いのうクリニック 八女市多世代交流館「共生の森」</p> |  |  |  |  |
| <p>第15回福岡県美しいまちづくり賞 平成14年度 City Cube 篠栗幼稚園</p> | | | 15 撮影：岡本公二 | 撮影：Nスタジオ辻清志 |
| <p>第16回福岡県美しいまちづくり賞 平成15年度 SHIMA STYLE 渡辺クリニック姪浜 247</p> |  |  |  |  |
| <p>第17回福岡県美しいまちづくり賞 平成16年度 カルシア小戸ナチュア</p> | 16 撮影：岡本公二 | 撮影：石井紀久 | 撮影：浅川敏 | 17 |
| <p>第18回福岡県美しいまちづくり賞 平成17年度 昭和初期和風住宅の移築プロジェクト 西南学院中学校・高等学校 伊田堅抗櫓二本煙突(景観賞)</p> |  |  |  |  |
| <p>第19回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成18年度 TERZETTO(テルツェット) 中村製紙所新社屋</p> | 18 | | | 19 |
| <p>第20回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成19年度 須崎の長屋</p> |  |  |  |  |
| <p>第21回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成20年度 東神原の家 アクア博多</p> | 20 | | 21 | |
| <p>第22回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成21年度 ベットと暮らす家[K邸減築工事] 天神MENTビル</p> |  |  | | |
| | 22 | | | |

これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞
[美しいまちづくり建築賞]大賞受賞作品

23回 - 30回

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| <p>第23回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成22年度 豊前の家 下川歯科医院</p> |  |  |  |  |
| <p>第24回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成23年度 むさしヶ丘の住宅 築上町火葬場</p> | 23 | | 24 撮影：石井紀久 | 撮影：みどりの写真 |
| <p>第25回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成24年度 四季の家 料亭 嵯峨野</p> |  |  |  |  |
| <p>第26回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成25年度 Obi house 筑紫保育園 分園</p> | 25 撮影：石井紀久 | | 26 撮影：Y.harigane(Techni Staff) | 撮影：河野博之 |
| <p>第27回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成26年度 大池の住宅 椎木講堂</p> |  |  |  |  |
| <p>第28回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成27年度 松原の家 BOATHOUSE OHORI PARK</p> | 27 撮影：石井紀久 | 撮影：吉田誠/日経アーキテクチャ | 28 撮影：Techni Staff | 撮影：Kouji Okamoto |
| <p>第29回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成28年度 太宰府の家 SHIP'S GARDEN</p> |  |  |  |  |
| <p>第30回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成29年度 糸島の家[MPラボ] 西南学院大学図書館</p> | 29 撮影：太野博之 | 撮影：株式会社エスエス | 30 撮影：石井紀久 | 撮影：針金洋介 |

表彰の趣旨

今回で31回を迎える福岡県美しいまちづくり建築賞は、福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与するものです。

応募部門

●住宅の部

- ・一戸建ての専用住宅。

ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

- ・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。

ただし、複合用途で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

●一般建築の部

- ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

※概ね10年前以降に竣工[増改築・修繕等含む]したものであれば、過去に応募したものでも再度の応募は可能です。

[福岡県美しいまちづくり建築賞で受賞したものは除きます]

主催 / 福岡県

協賛 / 一財：福岡県建築住宅センター

後援 / 独法：住宅金融支援機構九州支店

独法：都市再生機構九州支社

福岡県住宅供給公社

公社：福岡県建築士会

一社：福岡県建築士事務所協会

一社：福岡県建設業協会

公社：福岡県宅地建物取引業協会

一社：九州住宅産業協会

公社：日本建築家協会九州支部

一社：日本建築学会九州支部

公社：日本都市計画学会九州支部

特非：日本都市計画家協会福岡支部

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会

the 31st
public competition
fukuoka
prefecture/
architectural
award for
artistic
urban design
works

選考委員会

50音順、敬称略

◎委員長 ○副委員長

池田美奈子 / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

石塚康弘 / 福岡県建築都市部次長

大森今日子 / 写真家

岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授 ○

菊竹清文 / 情報彫刻家

北里晋 / 西日本新聞社編集局文化部長

黒瀬武史 / 九州大学大学院人間環境学研究院准教授

小路芳晴 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長

末廣宣子 / 有限会社エヌ・ケイ・エス・アーキテクツ取締役

田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院教授 ◎